

雁池通信

web 版

創意・勤勉・友愛

GAN—GA—IKE

TSU—SHIN

新年度特集号

2026.4



祝！令和8年度入学式





春のやわらかな日差しが降り注ぎ、校庭の木々が鮮やかな新緑に包まれる季節となりました。皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和8年度は、期待と不安を胸に抱いた74名の新入生を迎え、全校生徒250名で新たな年度の歩みを力強く踏み出しました。今年で創立72年目を迎える本校は、高知県西南部唯一の工業高校として、これまで8千名を超える卒業生を世に送り出してきました。卒業生は地元幡多地域のみならず、日本全国の産業界で活躍しており、本校の伝統の重みを改めて実感しております。

昨年度の進路状況を振り返りますと、本校が誇る就職実績においては、生徒の人間性を高く評価していただき、例年通り県内外の大手企業や関連企業をはじめ、多くの生徒が就職を果たしました。公務員試験においても14名が合格し、たゆまぬ努力が実を結んだものと考えております。また、進学では、高知工科大学4名、高知大学1名、大阪教育大学1名の計6名の国公立大学をはじめとする14名が四年制大学へ進学しました。さらに、短期大学や専門学校へもそれぞれの志望に合わせて進学し、進路を実現しております。私たち教職員は、「工業教育をとおして社会に貢献できる人材育成」を念頭に、「就職してしっかり働ける人づくり、進学してしっかり学べる人づくり」を目指しております。生徒の皆さん一人ひとりの進路実現に向け、精一杯サポートさせていただくとともに、その先の将来を見据え、社会で貢献できる人材育成に尽力してまいります。

さて、現代社会は、めまぐるしい速さで変化し続けています。予測困難な時代と言われる今、これまでの学校生活で経験してきたような、既存の知識を蓄積し、一つの正しい答えを誰よりも早く見つけるという学びだけでは不十分となってきました。世界は今、まだ答えのない課題や、複数の答えが存在する複雑な問題に溢れています。過去の成功例がそのまま通用しない場面も増えており、私たちは現代の条件に合わせて物事を再検討し、自ら新しい答えを導き出さなければなりません。皆さんがこれから歩む道は、先人たちが歩んできた道とは異なるかもしれませんが、新しい道を切り拓くためには、過去の歩みを教訓として学び、現在の課題を克服する力が必要です。この、新しい時代を切り拓く力を育む指針となるのが、本校の校訓である「創意・勤勉・友愛」です。

「創意」とは、既成概念にとらわれない、新しい発想や独創的な考え方を意味します。前述した答えのない問いに立ち向かう際、主体的に生き抜き、新たな価値を生み出していくためには、この「創意」が不可欠です。次に、その「創意」を支えるのが「勤勉」です。「創意」は、確かな基礎知識や確固たる技術の上に初めて成り立つものです。技術習得のための日々の地道な努力こそが、校訓に掲げる「勤勉」の姿に他なりません。そして「友愛」です。これは他者への深い思いやりを持ち、相手の立場を理解して行動することを指します。人はそれぞれ異なる存在であり、その多様性を認め合い、尊重し合うことで、安心して学び合える人間関係が築かれます。

本校が誇る工業技術とは、単なる作業の手段ではありません。それは、人々の暮らしを支え、社会を、そして何より人の心を豊かにするために存在するものです。「技術は人のためにある」という精神を、日々の実習や学びの中で体得してください。皆さんが磨くその手、その知恵は、誰かを笑顔にするためにあるのです。本校の70年に及ぶ歴史と蓄積された技術は、皆さんが新しい価値を生み出すための、最も強固な土台となるはずです。そして、技術を磨きつつ、豊かな人間性を育み、やがては、この地域の、そして日本の産業基盤を支える人材として、大きく羽ばたいていくことを期待しております。

結びになりますが、生徒の健やかな成長のためには、ご家庭と学校、そして地域社会が手を取り合い、信頼に基づいた連携を図ることが不可欠です。皆様には、本校の教育活動ならびに指導につきまして、今後ともより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。この一年間が生徒の皆さんにとって実り多き充実した一年となりますよう、密に連携し、共に歩んでまいりたいと存じます。



4月7日に入学生74名を迎え、2年生80名、3年生96名の合計250名となり令和8年度がスタートしました。教務部として新学期の始まりに当たり、次の重点目標を定め、生徒の進路実現に向けて全教職員で指導してまいります。

まず、『基礎学力定着と学力の向上』のため、クラス単位になりますが、様々な検定・資格取得に向けた取り組みを行います。また、今年度も「学習支援員事業」を活用し、定期試験の結果により1・2年生の「国・英」については放課後に補習を実施する予定にしています。さらに本校は工業高校ということもあり、実習のレポート提出も頻繁にあります。専門教科のみならず、普通教科でも宿題は出ているので、期限内に提出できるようご家庭の方でも、「宿題は？」「レポートは？」と言声をかけて頂ければ幸いです。

また、『出席率の向上』に向けて、一人でも多くの皆勤者が出ることを目指し、欠席・遅刻・早退の防止に努めています。昨年度は、現2年生から23名、現3年生から29名、合計52名の皆勤者がおり、学校全体のおよそ30%にもなります。これは生徒本人の努力もさることながら、ご家庭での協力があってのものです。雨天の日は少し早く家を出よう声掛けをしていただき、また体調管理にも気をつけていただければと思います。朝のショートホームから全員が顔を揃え、1時間目の授業に入っていくことで、落ち着いた学習環境が確保され、実習等での怪我の防止や学力向上にもつながると考えています。

最後に、欠席する場合や事情があって遅刻をするときなどは、必ず保護者の方が「すぐーる」等で学校に連絡をいただけるよう合わせてご協力をお願いいたします。

I 基礎学力の定着と学力の向上を図る

1. 授業時間の確保と充実

a. ICTを活用した授業の推進(生徒にわかる授業の展開・公開授業の実施)

b. 50分間の有効利用

2. 中途退学者の防止と欠点保有者の減少

II 出席率の向上を図る

1. クラス平均99%以上の出席率を目指す

2. 皆勤者の増加を目指す

3. 欠席、遅刻、早退の防止に努める

III 安全教育の徹底

1. 実習・実験及び体育時における怪我の防止



自分はどんな人生を歩んでいきたいか？

進路指導部

令和7年7月末に、厚生労働省が発表した全国の高卒新卒求人倍率は3.69倍となっており、本校を訪れる企業の方々からも工業高校生がほしい、育てたい、という声を多く聞きます。20数年前前に高校を卒業した世代からは考えられないくらい、就職先の選択肢は広がっています。もちろん、企業が、いくら人が欲しいと言っても、誰でもいい訳ではなく、入社への熱い思いがあるか、高校時代に努力してきた人物かどうか、自分の考えがきちんと伝えられるかどうか、などが問われます。

大学を卒業して就職した場合と、高卒の場合では、生涯賃金は大卒の方が4000～6000万円多いというデータがあります。しかし、よく考えないまま大学生活を過ごしてしまうのか、高卒と同じ枠の職種に就く学生もいるそうです。4年間働いていたら、それなりの技術が身についているでしょうし、その間の学費を考えると、残念なことに思えます。

高校卒業後、就職するのか進学するのかを選ぶのは自分です。本当にそれをやりたいのか、なぜそれをやりたいのか、そしてそれは、そこでできることなのか、考えに考えて進路選択をしてください。何がしたいか分からない人、社会で今どんなことが足りていなくて、必要とされていることなのか、探して、その中で自分ができると思うことを選んでください。就職・進学いずれにしても、10年後の自分をイメージしてみること、自分がこの先どんな人生を歩んでいきたいかと考えることが、進路について考えることのスタートになります。目標を定め、それを達成できるように努力をしましょう。

安全に安心した学校生活を送るために

生徒指導部

新年度がスタートし、早くも1ヶ月が過ぎようとしています。みなさんも、新しい生活にも慣れてきた頃かと思いますが、改めて「安全」と「安心」について考えてみましょう。

●「安全」を守るために

明日という日は、誰にでも当たり前に来るわけではありません。みなさんが乗っている原付バイクで事故が起これば、簡単に命が絶たれ、または奪う危険性があります。利用者は交通違反がないように安全運転を心がけてください。特にスピードの出しすぎ、車間距離の詰めすぎ、一時停止違反など、危険な運転はしないようにしてください。

自転車についても、2026年からは16歳以上を対象とした「青切符」による反則金制度が本格的に運用されています。信号無視や一時不停止、スマートフォンを使用しながらの「ながら運転」などは取り締まりの対象です。「自分くらいは大丈夫」という甘い考えが、重大な事故や法的責任に繋がります。利用者は、常に「被害者」・「加害者」にならないためにも、責任を持って安全運転に心がけてください。

●「安心」出来る場をつくるために

つぎに「安心」です。学校は誰もが安心して生活ができる場でなくてはなりません。そのためには、一人一人が思いやりの心を持ち、周りの人に迷惑をかけないような行動をとってください。また、「いじめ」は、絶対に許しません。自分はいじめをしていないと思っていても、相手がいじめを受けたと思った時点で、いじめに該当します。自分の発言や行動に十分に気を付けてください。

宿毛工業高校の3年間で培った知識や経験を君たちの将来に繋げるためにも、一人一人が「安全に安心した学校生活」を心がけてください。



◆ 令和8年度 入学式・着任式・対面式 ◆

～入学式～

本年度は74名が入学しました。校長先生による入学許可の後、東中学校出身の電気科 岡本さんによる宣誓が行われました。緊張する場面の中、力強く今後への抱負を述べてくれました。

高校生活というのは、あっという間に過ぎていきます。3年間という限られた時間を悔いを残さぬよう懸命に駆け抜けてください。



～対面式～

4月8日、在校生と新入生の対面式が行われました。生徒会長の3年建設科建築専攻の野中碧さんの歓迎の言葉の後、1年建設科土木専攻 米津さんが新入生を代表して決意の言葉を述べてくれました。また記念樹として各クラスに観葉植物が送られました。3年間ともに成長していきましょう。



～部活動紹介～

対面式に引き続き、部活動紹介が行われました。本校には体育系11、文化系10とたくさんの部活動があり、例年四国大会や全国大会などに数多くの生徒が出場しています。3年間取り組める活動を見つけ、充実した高校生活にしましょう。



～新入生仲間づくり活動～

4月14日、お互いの顔と名前が一致しきらない状態ですが、新入生が幡多青少年の家で親睦を深める活動を行いました。午前中は、火起こしから行うカレー作り、午後はレクリエーションを行い、活動の中でこれまで話すことができなかった生徒同士で、コミュニケーションをとることができたようです。

